

1: 出席者

加藤^a・大西^b・片山・岡部・平林・大塚^c・内藤^c・勝間^c・吉尾^c・須田^c・合川^{c,d}・吉田^c

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 1/7 に東京(東工大)で行われた特別会計の会議において、検索・作図システムの進行状況について報告した。また、2/16 に北大で総合核データ利用システムの打ち合わせ、2/19 に東京で特別会計全体会議が行われる予定である。(加藤)
- VBL での海外派遣、研究員招聘、COE 研究員の申請についてそれぞれ検討を行う予定である。(加藤)
- 小濱氏からの依頼により、理化学研究所において NRDF についての講習会を行った。(大塚)
- 採録エディタ HENDEL 上で EXFOR の文法チェックプログラム CHEX が稼動するように改良した。(大塚)
- 早急に採録エディタ HENDEL を公開する予定である。(大塚)
- 検索・作図システムの改良を行った。(須田)
- 新規サーバ用のコンピュータを 2 台購入し、それぞれ公開用とテスト開発用とする。現在設定を行っている。(勝間、須田)
- 1/19 の VBL 懇談会で発表を行った。(吉尾)

3: 議論

- JCPRG の活動報告について
核談通信と ntj-l で JCPRG の活動報告を行うこととなった。
- データの採録基準について (D1810)
積分された物理量が折れ線グラフで図示されている場合、著者からデータ提供がされた場合は採録するが、提供されない場合については採録者等の判断による。
- EXFOR で未採録の医療用データについて
日本で行われた実験 (8 件) に関しては JCPRG で採録する。
- EXFOR での数値データ採録方法について
複数の独立変数を用いて複数の数値テーブルを結合することが可能であるが、JCPRG としては正規化された複数のテーブルとして採録することとする。
- 2003 年度報告書 (案) について
以下のような案が議論され、今後依頼を行うこととする。

巻頭言

医療用核データについて (大塚 (、天道))

光学模型による弾性散乱の理論計算・作図システムについて (勝間)

天文データベース作成について (須田)

Web 上での数値読み取りシステムについて (合川)

NRDF から EXFOR への変換状況について (大塚、吉田)

NTX ワーキンググループ報告書 (能登)

IAEA annual meeting 報告 (加藤、大塚)

IAEA ワークショップ報告 (大塚、合川)

4: 次回

2004 年 3 月 1 日 18:00~